

# インナーウェア・レッグウェアに関する調査結果 2008

ーレディスインナー、メンズインナーは異業種へのチャンネルスイッチ進むー

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて、インナーウェア・レッグウェア市場の調査を行った。

1. 調査期間:2008年7月～8月
2. 調査対象:インナーウェア、レッグウェア市場に参入している製造業、卸売業、小売業
3. 調査方法:当社専門研究員による直接面接、及び郵送アンケートを併用

## 【調査結果サマリー】

- ◆ 2007年レディスインナー小売市場は7,250億円、前年比98.0%、  
2007年メンズインナー小売市場は2,580億円、前年比95.9%

2007年のレディスインナー小売市場規模は、7,250億円（前年比98.0%）であり、同年のメンズインナー小売市場規模は2,580億円（前年比95.9%）であった。レディスインナー、メンズインナーともに、主要チャンネルは苦戦したが、SPA（製造小売業）やカジュアル衣料品小売業といった異業種チャンネルが健闘した。

- ◆ 2007年レッグウェア小売市場は6,400億円、前年比102.7%

2007年のレッグウェア小売市場規模は、婦人レッグファッションが注目された結果、伸長し、6,400億円（前年比102.7%）となった。

- ◆ 今後、レディスインナー、メンズインナーは異業種へのチャンネルスイッチが進む

主要の既存チャンネルの厳しい状況が続き、レディスインナー、メンズインナーともに、市場規模自体は縮小傾向にあるなかで、カジュアル衣料品小売業といった異業種へのチャンネルスイッチ（消費者の購買経路の多様化）が進んでいる。

また、レッグウェアは婦人レッグファッション人気の継続により、2008年も堅調と予測する。

- ◆ 資料体裁

資料名：「インナーウェア市場白書 2008年版」  
発刊日：2008年8月29日  
体裁：A4版 630頁  
定価：105,000円（本体価格100,000円 消費税等5,000円）

- ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝

設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報グループ TEL：03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報グループ迄お問合せ下さい。

**【 調査結果の概要 】****1. レディースインナーウェア市場概況と予測**

- 2007年のレディースインナーウェア小売市場規模は、7,250億円（前年比98.0%）であった。2008年は7,110億円（前年比98.1%）と予測する。
- 同市場は、ブラジャーのキャンペーンに牽引され、伸びてきたが、最近では、ブラジャーの販売不振が続いている。これに代わり2005年秋から2006年にかけてはボトムスの強化、2007年秋以降は肌着の強化が行われてきたが、ブラジャーの落込みをカバーできるまでにはない。
- 主要チャネルのなかでも、特に百貨店や下着専門店が苦戦している一方で、SPA（製造小売業）やカジュアル衣料品小売業へのチャネルスイッチ（消費者の購買経路の多様化）が進んでおり、今後もこの傾向は続く。
- 商品については、インポートランジェリーをはじめとした高額品市場が苦戦している。今後は、低価格化とともに、高品質化の方向に進むとみられる。

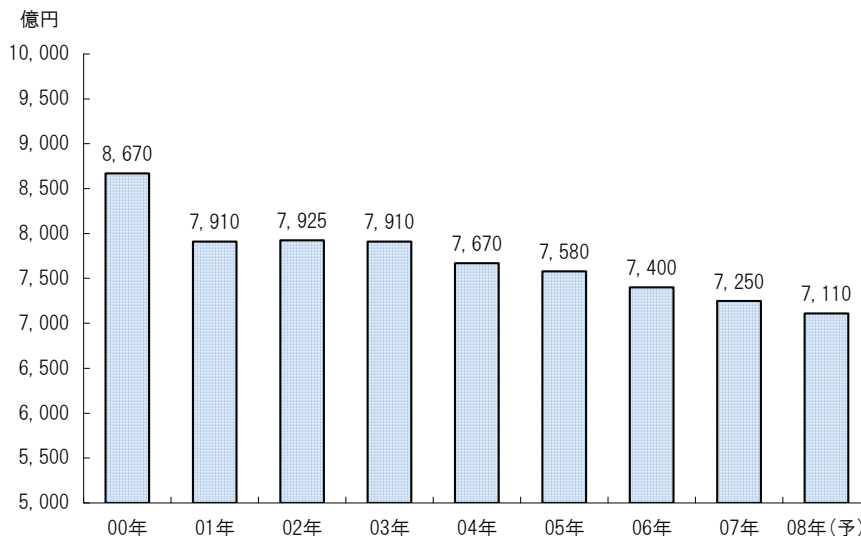
**2. メンズインナーウェア市場概況と予測**

- 2007年のメンズインナーウェア小売市場規模は、2,580億円（前年比95.9%）であった。2008年は2,500億円（前年比96.9%）と予測する。
- 同市場は、クール・ビズ効果で2005年に前年比プラスとなったものの、定番の白物肌着の不振により、市場規模は縮小傾向にある。
- カジュアル衣料品小売業へのチャネルスイッチが進み、既存チャネルは苦戦している。こうした状況下において、量販店は巻き返しをかけ、シーズン毎に低価格品を単品訴求するとみられる。
- 商品については、低価格、かつ素材・機能性訴求の方向に進むとみられる。また、レディースインナーメーカーの参入により、メタボリック対策などの新しい用途開発により、新市場の形成が期待される。

**3. レッグウェア市場概況と予測**

- 2007年のレッグウェア小売市場規模は、6,400億円（前年比102.7%）であった。2008年は6,500億円（前年比101.6%）と予測する。
- 同市場は、年々、ストッキングや靴下を着用しない人が増えてきた結果、市場規模は縮小傾向にあった。その一方で、2007年はレッグファッションが注目を集め、好調を博した。2008年もこの傾向は続くものと予測する。
- SPA（製造小売）型企業は店舗数を増やし、市場を牽引している。メーカーも直営店事業を重視する傾向にある。
- 商品については、プレーン・ベーシックのパンティストッキングは苦戦している。その一方で、レイヤードスタイルの提案など、トレンド商品が引き続き好調であり、アイテム別の提案からトータルコーディネートへの提案へ進む傾向にある。

図1. レディースインナーウェア小売市場規模推移



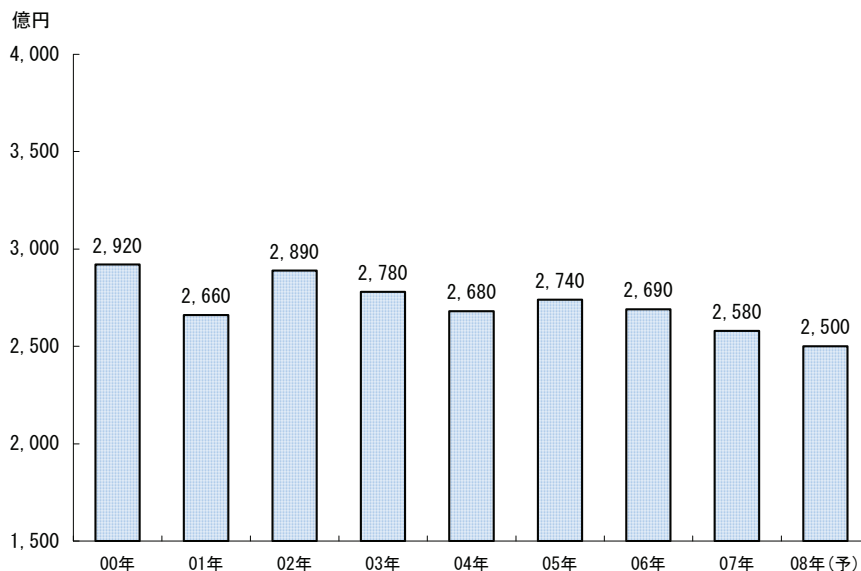
	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年(予)
小売市場規模	8,670	7,910	7,925	7,910	7,670	7,580	7,400	7,250	7,110
(前年比)	96.7	91.2	100.2	99.8	97.0	98.8	97.6	98.0	98.1

矢野経済研究所推計

注1: 小売金額ベース

注2: (予) は予測値

図2. メンズインナーウェア小売市場規模推移



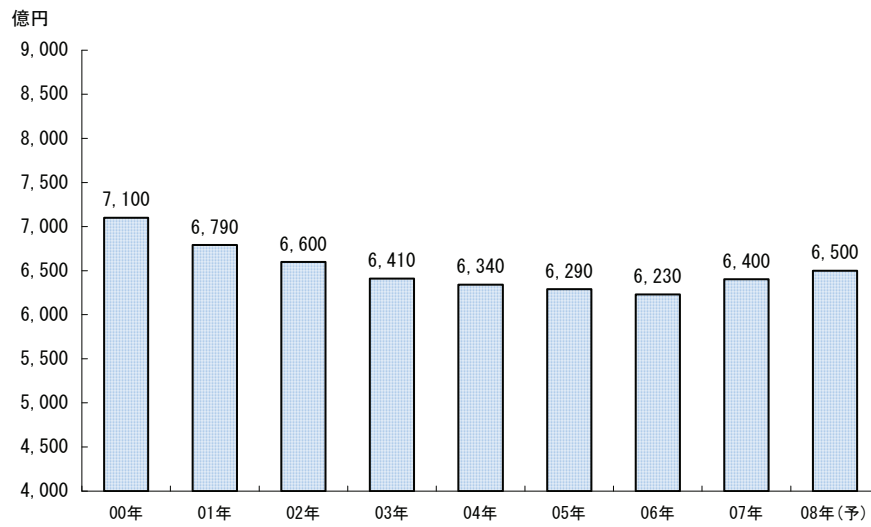
	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年(予)
小売市場規模	2,920	2,660	2,890	2,780	2,680	2,740	2,690	2,580	2,500
(前年比)	92.3	91.1	108.6	96.2	96.4	102.2	98.2	95.9	96.9

矢野経済研究所推計

注3: 小売金額ベース

注4: (予) は予測値

図 3. レッグウェア小売市場規模推移



	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年(予)	
小売市場規模	7,100	6,790	6,600	6,410	6,340	6,290	6,230	6,400	6,500	
(前年比)		94.4	95.6	97.2	97.1	98.9	99.2	99.0	102.7	101.6

矢野経済研究所推計

注 5: 小売金額ベース

注 6: (予) は予測値